



NEO G-Child i-Size 取扱書



製品情報・表示について

本製品はi-Sizeチャイルドシートです。

協定規則129号の第2改訂版(UN R129/02)に適合しており、i-Sizeチャイルドシートに対応している自動車の指定された座席にて使用することができます。ご使用の際には自動車の取扱書も合わせてご確認ください。

対応する幼児の身長：100cm以下

対応する幼児の体重：18kg以下

当製品は、安全、品質の確保に細心の注意を払って製造・販売しておりますが、万一リコール等がありました場合に、速やかにお客様にご連絡し、修理等をさせていただくため、お客様登録をしていただきたいと思います。つきましては、お客様登録カードに、お名前、ご住所、お電話番号をご記入いただき、販売店にお渡しいただくか、お客様登録カード係までお送りいただきたくお願いいたします。

この取扱書には、安全にご使用いただくために、特にお守りいただきたいことを、次のマークで表示しています。これらの記載内容は重要ですので、しっかりとお読みください。



取り扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負うおそれがある内容を示しています。



取り扱いを誤った場合、傷害を負うおそれがある内容、または物的損害の発生が予想される内容を示しています。



チャイルドシートをご使用になる上で守っていただきたいこと、および知っておくと便利なことを示しています。



図示されている行為の禁止を示しています。

目次

必ずお読みください	製品情報・表示について	1
	目次	2
	使用条件と基本的な使用方法	3
	各部の名称と付属品	5
	緊急時には	8
	取り付けできる座席	9
	取り付けできない座席	10
	ご使用上の注意	11
ご使用前の準備	肩ハーネスの高さ調整	15
	インナークッション	17
車への取り付け・取り外し	ベースを取り付ける	19
	シートを取り付ける（後ろ向き）	23
	シートを取り付ける（前向き）	25
	車の座席の調整について	27
	シートを取り外す	29
	ベースを取り外す	30
お子さまの乗せ・降ろし	お子さまを座らせる	32
	お子さまを降ろす	34
お手入れ	クッション・カバーを取り外す	35
	各部のお手入れ	39
	クッション・カバーを取り付ける	41
	補修部品について	44

必ずお読みください

ご使用前の準備

車への取り付け・取り外し

お子さまの乗せ・降ろし

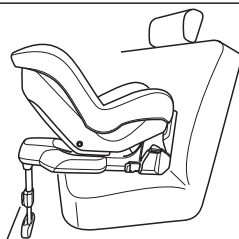
お手入れ

使用条件と基本的な使用方法

チャイルドシートはお子さまの身長や体格により、使用方法が異なります。
ご使用になるお子さまに合った正しい取り扱いを行ってください。

新生児

後ろ向き



進行方向に対し、
後ろ向きに
チャイルドシート
を取り付ける。

身長 60cm



インナークッションを
使用する。



警告

お子さまの身長が76cm以上、かつ月齢が15ヶ月を超えるまで
前向きで使用しないでください。

身長 83cm または体重 13kg



肩ハーネスは
肩より低い位置
で使用する。

インナークッションを取り外す。

身長76cm かつ月齢 15 か月

身長 100cm または体重 18kg

前向き



進行方向に対し、
前向きに
チャイルドシート
を取り付ける。



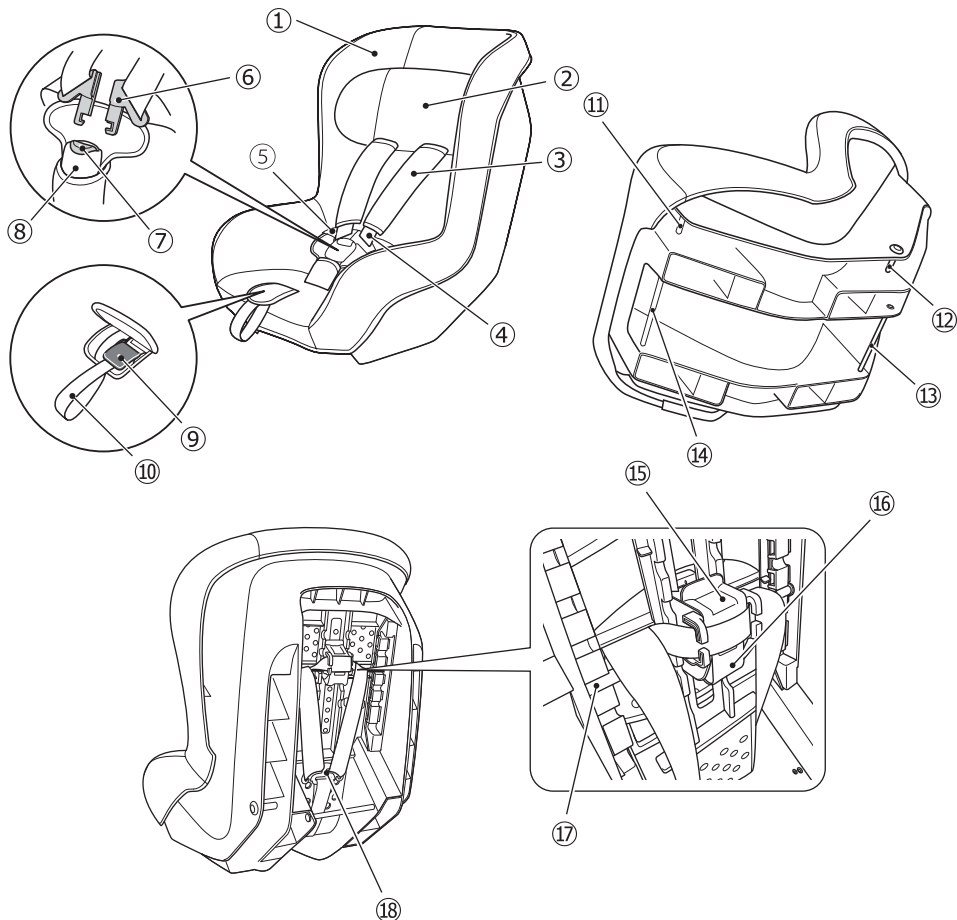
肩ハーネスは
肩と同じ、
または高い位置
で使用する。



インナークッションを取り外す。

各部の名称と付属品

■シート



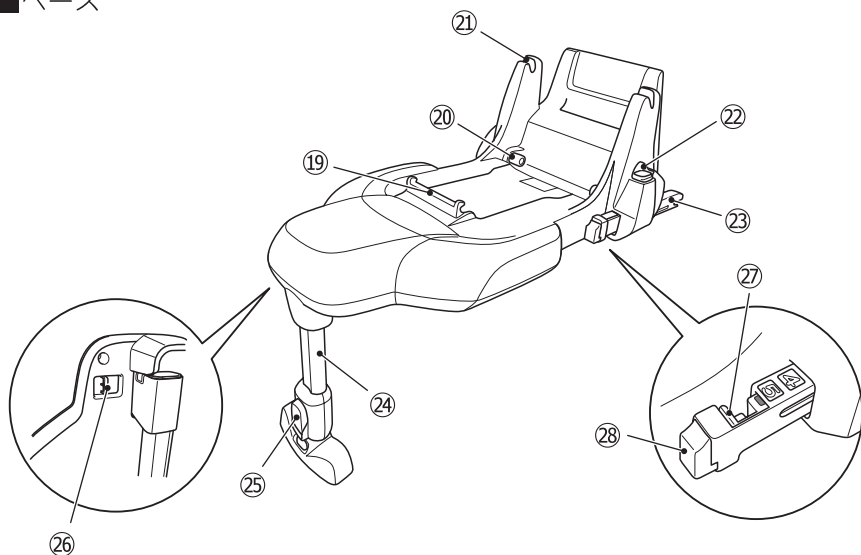
<本体>

- ①シートクッション
- ②ヘッドクッション
- ③肩ハーネスカバー
- ④肩ハーネス
- ⑤腰ハーネス
- ⑥タング
- ⑦バックル解除ボタン

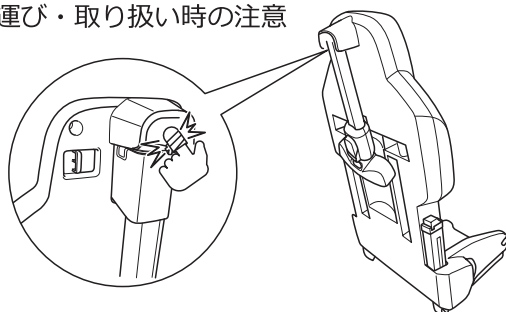
- ⑧バックル
- ⑨ハーネスアジャストレバー
- ⑩ハーネスアジャスター
- ⑪後ろ向き用取り付けピン B
- ⑫前向き用取り付けピン B
- ⑬後ろ向き用取り付けピン A
- ⑭前向き用取り付けピン A

- ⑮肩ハーネスアジャスター
- ⑯肩ハーネスアジャストボタン
- ⑰ロックピン
- ⑱ハンガー

■ベース



持ち運び・取り扱い時の注意



サポートレッグの根本に手を入れると指を挟むおそれがあります。

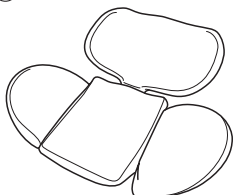
<ベース>

- | | |
|--------------------|-----------------|
| ①⑨ シート取り付け部 A | ②⑥ サポートレッグ解除レバー |
| ②⑩ コネクターアジャストボタン | ②⑦ コネクター解除レバー |
| ②⑪ シート取り付け部 B | ②⑧ コネクター解除ボタン |
| ②⑫ シート脱着ボタン | |
| ②⑬ コネクター | |
| ②⑭ サポートレッグ | |
| ②⑮ サポートレッグアジャストボタン | |

各部の名称と付属品

■付属品

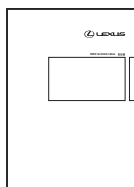
②9



③0



③1



警告

梱包用のビニール袋はお子さまの手の届かないところに置くか、破棄してください。お子さまがかぶると事故の原因になるおそれがあります。



アドバイス

欠品や破損などがございましたら、ご使用にならず、お買い上げの販売店または弊社お客様相談センターにご連絡ください。

<付属品>

②9 インナークッション(工場出荷時には本体に取り付いています。)

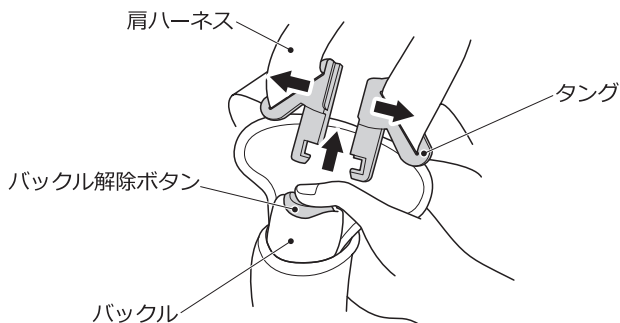
③0 ガイドカップ

③1 取扱書

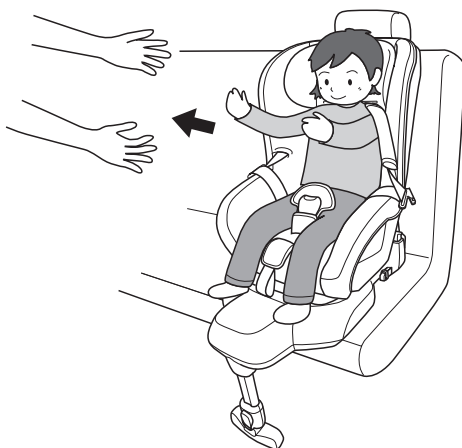
緊急時には

事故などの緊急時は、あわてず次の手順で速やかにお子さまを救出してください。

- ① バックル解除ボタンを押してバックルからタングを外し、肩ハーネスを左右に広げる。



- ② お子さまを静かにチャイルドシートから降ろす。



アドバイス

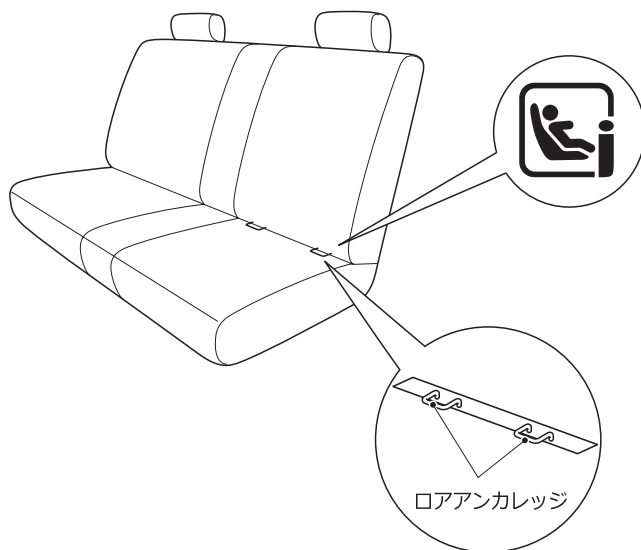
バックル解除ボタンを押してもタングが外れない場合は、ハーネスを切断するなどして、お子さまを救出してください。

必ずお読みください

取り付けできる座席

ロアアンカレッジが装備されていて、i-Sizeチャイルドシートに対応している座席

「ロアアンカレッジ」とは、チャイルドシートを取り付ける為に、車の座席背もたれと座部との間に装備された取り付け金具です。詳しくは車の取扱書をご確認ください。



警告

このチャイルドシートは、シートベルトを使った取り付けはできません。
ロアアンカレッジ以外で固定した場合、事故時に重大な傷害を負う
おそれがあります。



アドバイス

ロアアンカレッジは通常クッションに隠れ、見えない場合があります。
また、車により名称や位置が異なる場合があります。

本製品の ISOFIX サイズクラスは下記になります。車の取扱書にて
対応状況を確認ください。

チャイルドシートの向き	サイズ等級	固定具
後ろ向き	D	ISO/R2
前向き	B1	ISO/F2x

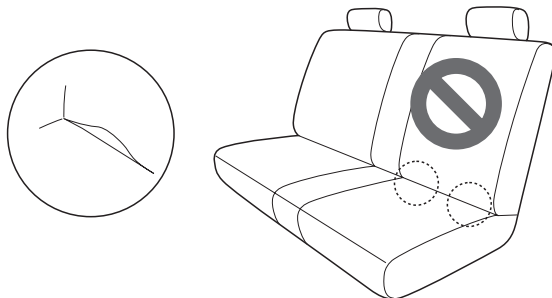
取り付けできない座席



車の座席が①～⑤のタイプに該当する場合は、チャイルドシートを取り付ける事ができません。取り付けした場合、事故時にお子さまや他の乗員が死亡または重大な傷害を負うおそれがあります。

必ずお読みください

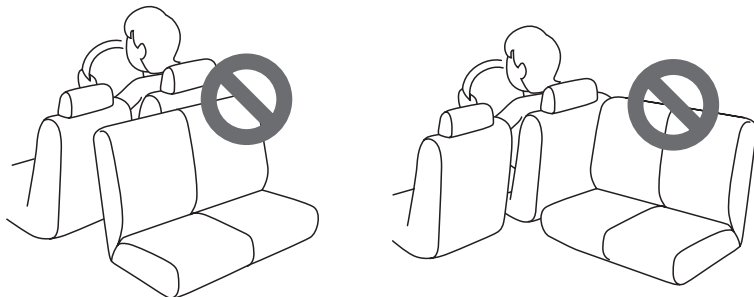
- ① ロアアンカレッジが装備されていない座席



- ② 前方にエアバッグが装備された座席

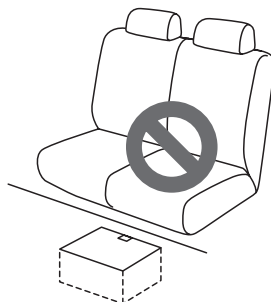


- ③ 横向き・後ろ向きになっている座席



- ④ チャイルドシートを取り付けると運転操作の妨げや、視界の妨げになる座席

- ⑤ サポートレッグの設置箇所に床下収納が装備された座席
(座席をスライドして避けられる場合は除く)

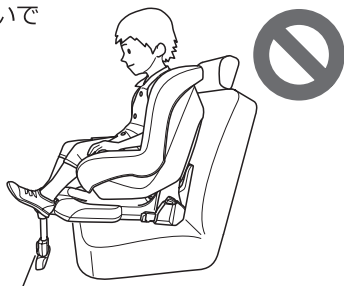


ご使用上の注意

●お子さまの乗せ降ろしについて



- ① 使用条件に適合しないお子さまに使用しないでください。
事故のとき重大な傷害を負うおそれがあります。



- ② お子さまだけ車に残した状態で車から離れないでください。
不慮の事故（熱中症やいたずらによる事故等）につながるおそれがあります。



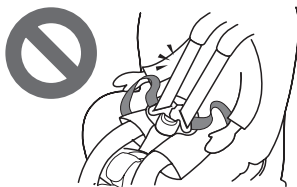
- ③ 走行中は、お子さまをチャイルドシートから乗せ降ろしさせないでください。



- ④ ハーネスは、緩みやねじれのないようにお子さまの身体にあわせて調整してください。
ねじれていると事故のときに重大な傷害を負うおそれがあります。



- ⑤ 腰ハーネスで骨盤がしっかりと拘束されるように、必ず腰ハーネスを低く下げて着用させてください。
腹部に腰ハーネスがかかっていると、事故等のときに腹部が圧迫され重大な傷害を負うおそれがあります。



ご使用上の注意

●チャイルドシートの取り扱いについて



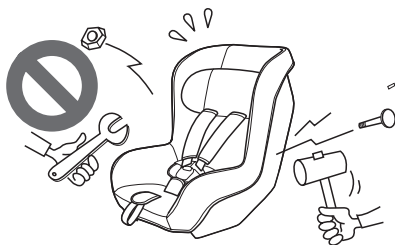
- ① チャイルドシートを安全に使用していただくため、柔軟材料（専用カバー類・ハーネス類・発泡材料等）を取り外したり専用品以外に取り換えて使用しないでください。
事故のとき重大な傷害を負うおそれがあります。



- ② チャイルドシートのハーネスを刃物等の鋭利な物で傷つけないでください。
傷ついているとチャイルドシートが正常な働きをしない場合があります。



- ③ 取扱書に記載された以上の分解や構成部品を取り外した状態での使用および指定以外の物との交換は絶対にしないでください。
事故のとき重大な傷害を負うおそれがあります。



- ④ 事故等で車両に強い衝撃を受けた場合は、チャイルドシートにも目に見えない破損があるおそれがあるので、絶対使用しないでください。



必ずお読みください

ご使用上の注意

- ⑤ チャイルドシートのロック部分（バックル、コネクター、ベースの本体取り付け部等、）には、精密な部品が組み込まれていますので、水やジュース等をかけないでください。部品の故障原因になります。



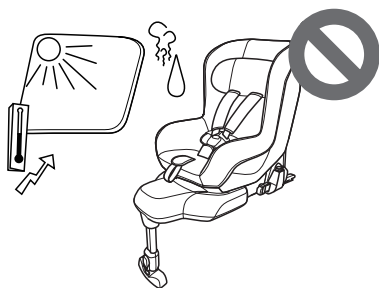
- ⑥ チャイルドシートを保管するときには、強い衝撃を与えたり、長期間屋外など日光が当たる場所に放置しないでください。



● その他こんなことにも注意して



- ① チャイルドシートに日光が当たると熱くなることがあります。大人が金属部分や樹脂部分に触れて熱さの程度を確認し、お子さまがやけどをするおそれのないことを確認の上、使用してください。



- ② 可動式シートまたは車両のドアにチャイルドシートの剛性部分（樹脂部分等）が挟まれないようにしてチャイルドシートを取り付けてください。



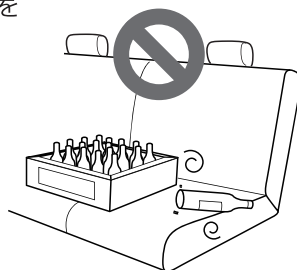
ご使用上の注意

必ずお読みください

- ③ ベースだけを取り付けたまま放置しないでください。
突起部分で頭などをぶつけるおそれがあります。
車内では必ず本体部分を取り付けてください。



- ④ 事故発生時や乗員に傷害を与えるような物を車の中に放置しないでください。
万一のとき、お子さまや乗員に当たるおそれがあり、危険です。



- ⑤ 長期間、車にチャイルドシートを取り付けることにより、座席に跡がつく場合があります。

- ⑥ 靴や衣類の面ファスナーが本品のクッションやカバーに引っかからないように気をつけてください。
お子さまの靴や服の面ファスナー（マジックテープ）などの突起物が引っかかると、クッションやカバーを傷めるおそれがあります。



肩ハーネスの高さ調整

お子さまの体格に合わせてご使用ください。位置が合っていない場合は、正しい位置に調整してください。

後ろ向き

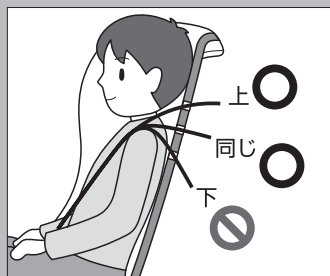
(身長 83cm 以下)



肩ハーネスがお子さまの肩より低い位置で使用して下さい。

前向き

(身長 76～100cm)

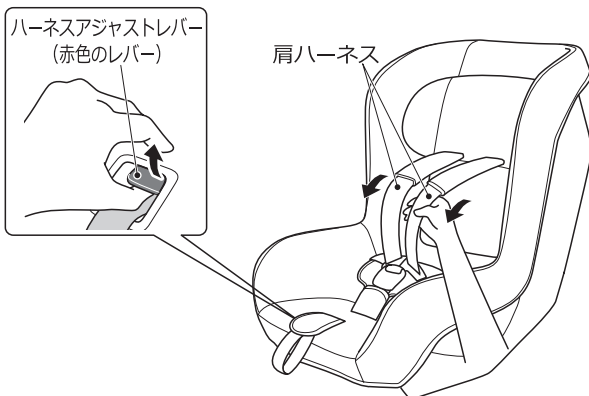


肩ハーネスがお子さまの肩と同じか、肩より高い位置で使用して下さい。



肩ハーネスの高さは必ず正しい位置でご使用ください。
不適切な位置で使用すると、事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。

- ① ハーネスアジャストレバーを持ち上げながら、肩ハーネスをすべて引き出す。

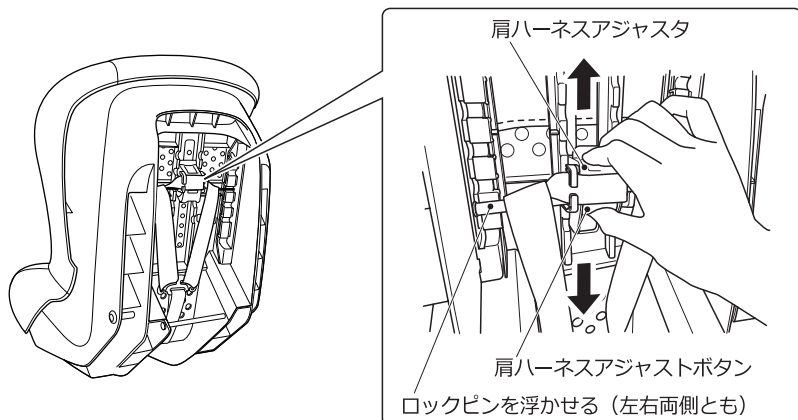


アドバイス

ハーネスを引き出す際にはカバーではなく、ハーネスを持って引き出してください。カバーを引っ張っても、引き出せません。

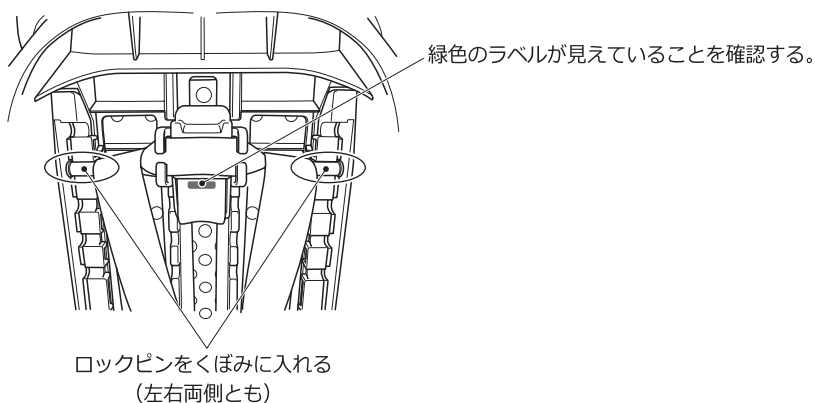
肩ハーネスの高さ調整

- ② 肩ハーネスアジャスターの肩ハーネスアジャストボタンを押し、肩ハーネスの高さを調整する。



可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

- ③ 適切な高さでアジャストボタンを離しロックする。ボタンの緑色の表示が見えロックしていることを確認してください。



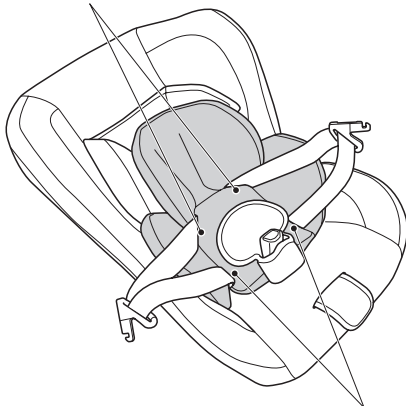
正しくロックしていないと事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。

インナークッション

インナークッションは、お子さまの身長が60cm以下の場合にご使用ください。

インナークッションをチャイルドシートに置き、下記のようにバックルとハーネスを通す。

左右の肩ハーネスはここを通す



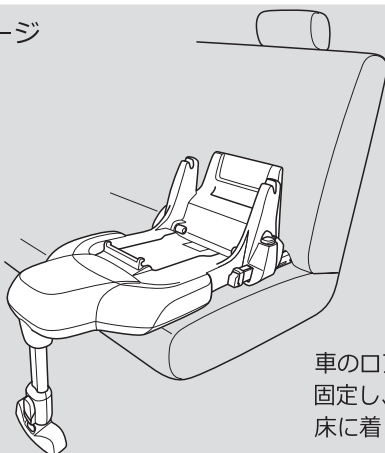
左右の腰ハーネスはここを通す



インナークッションは工場出荷時にはシートに取り付いています。

ベースを取り付ける

●取り付け完成イメージ



車のロアアンカレッジに
固定し、サポートレッグが
床に着くように調整する。



注意

- 取り付けの際には可動部分に指や物を挟まないようにしてください。
- ベースだけを取り付けたまま放置しないでください。突起部分で頭などをぶつけるおそれがあります。
- ベースを車室内に置く場合は、安全のためロアアンカレッジに取り付けたベースにチャイルドシートを固定しておいてください。
- 運転席の後方にチャイルドシートを取り付け、運転操作に支障をきたす場合は、他の席でチャイルドシートをご使用ください。



アドバイス

長期間、車にチャイルドシートを取り付けることにより、車の座席に跡がつく場合があります。

- ① 車の座席背もたれと座面の隙間を少し広げ、ロアアンカレッジの位置を確認する。

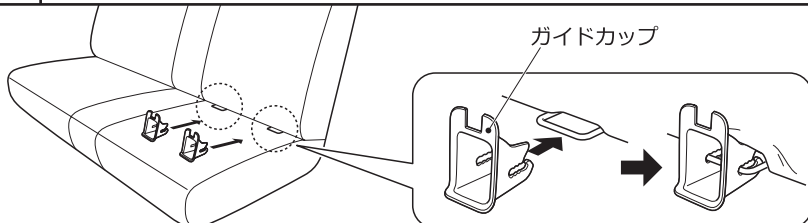


ロアアンカレッジ



アドバイス

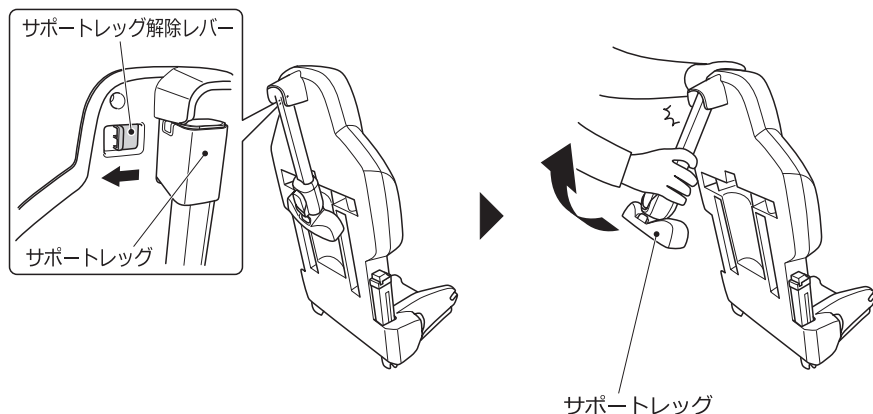
ロアアンカレッジは隠れて見えにくいので、付属のガイドカップを使うことで取り付け易くなります。但し座席によってはガイドカップが必要ない場合や、取り付けできない場合があります。この場合はガイドカップを使用せずベースの取り付けを行ってください。



ガイドカップ

ベースを取り付ける

- ② 底面のサポートレッグ解除レバーを矢印の方向に動かし、サポートレッグを引き出す。引き出したらレバーを離し、ロックする。



警告

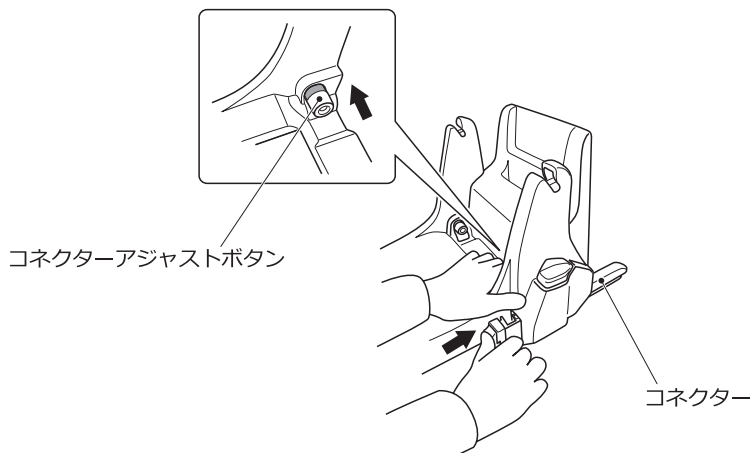
正しくロックしていないと、事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。



注意

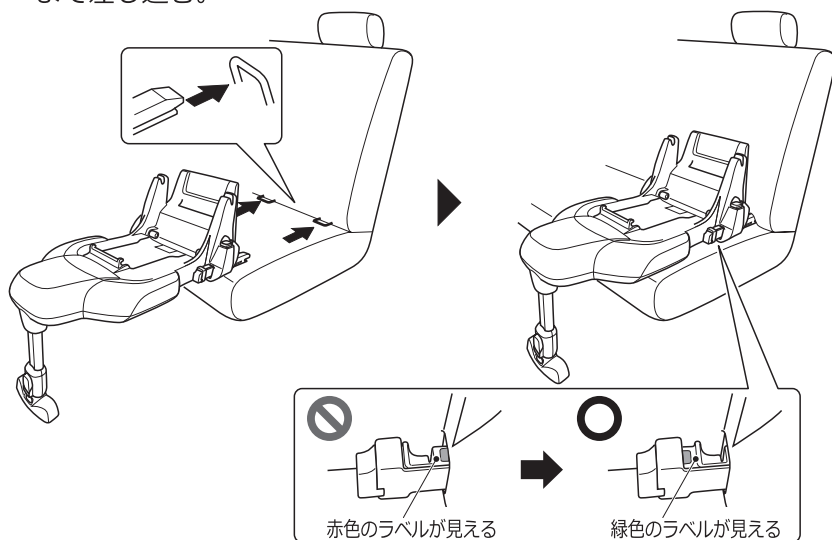
可動部分に指や物を挟まないようにしてください。また操作を行う際には、安定した場所に置いて行ってください。

- ③ コネクターアジャストボタンを矢印の方向に押した状態で、コネクターを全て押し出す（左右両方とも）。



ベースを取り付ける

- ④ コネクター部をロアアンカレッジに差し込む。カチャとロック音がし、両方のインジゲーターの赤色のラベルが消え、緑色のラベルが見えるまで差し込む。

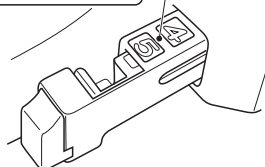
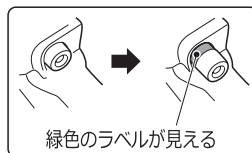


コネクターは必ず正しいロック状態にしてください。正しくロックしていないと事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。

- ⑤ 両側のコネクターアジャストボタンを押しながら、ベースを車の座席背もたれに押え付ける。



手を離れた時、左右のコネクターアジャストボタンがロック位置（緑色のラベルが見える状態）まで戻っていること、コネクターの左右の数字が同じ番号になっている事を確認する。



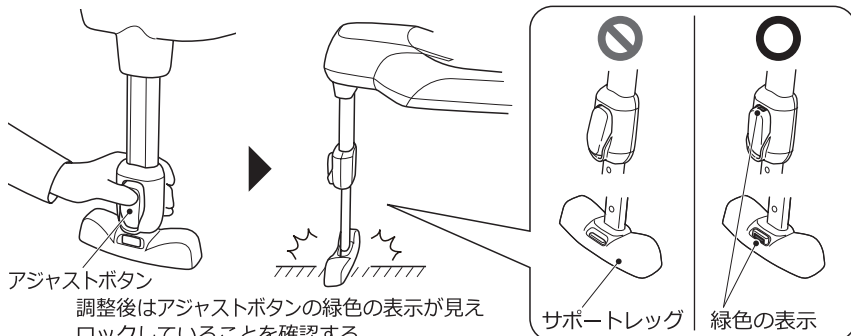
ベースを取り付ける



アドバイス

- アジャストボタンがロック位置に戻っていない場合（緑色のラベルが見えていない状態）は、ベースを前後にゆらしてロックさせてください。
- 車により、しっかり押さえつけてもベースと車の座席との間に隙間が生じる場合があります。車の座席がリクライニングする場合は、できるだけ隙間が小さくなるよう、リクライニング角度を調整してください。

⑥ アジャストボタンを押しながら、サポートレッグの先端が床に接触し緑色の表示が見えるよう長さを調整する。



警告

サポートレッグの先端が正しく床に接触していない、またアジャストボタンが正しくロックされていないと、事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。



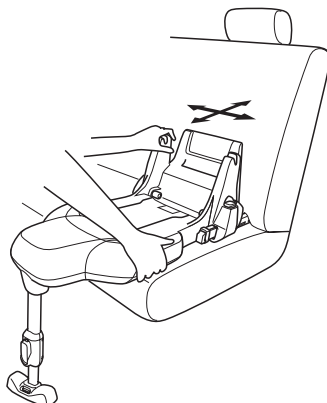
アドバイス

車によっては、正しくサポートレッグを設置すると座席とベース底面に少し隙間ができる場合があります。

⑦ 取り付けチェック

ベースがしっかりと取り付けられていることを前後左右にゆらして確認してください。

ぐらつきがある場合は「ベースシートの取り付け」(P20)の②~からやり直してください。



アドバイス

ベースの取り外し方は P.30 を参照ください。

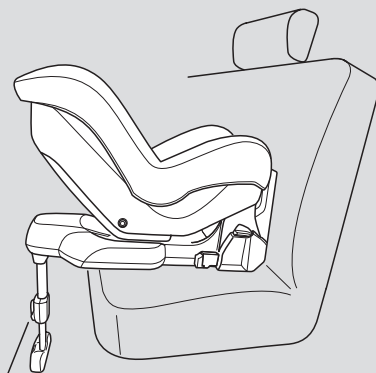
シートを取り付ける（後ろ向き）

お子さまの身長 83cm または体重 13kg 以下

● 取り付け完成イメージ



車の進行方向に対し、
後ろ向きになるよう
シートをベースに取り
付ける。



注意

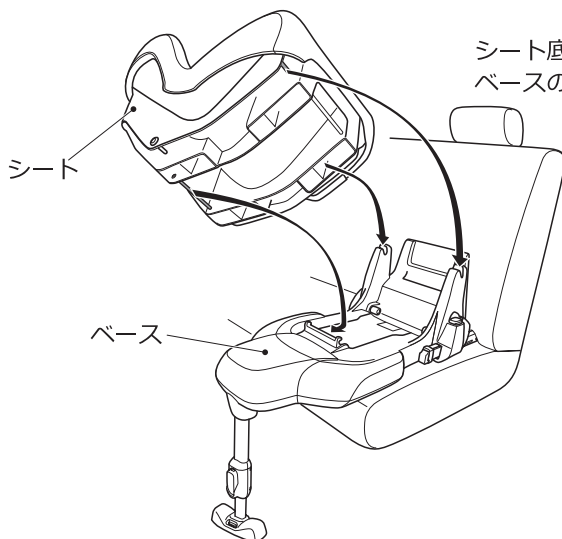
取り付けの際には可動部分に指や物を挟まないようにしてください。



アドバイス

長期間、車にチャイルドシートを取り付けることにより、車の座席に跡がつく場合があります。

① ベースにシートを後ろ向きに取り付ける。



シート底面の3箇所のピンを
ベースの取り付け部に差し込む。



警告

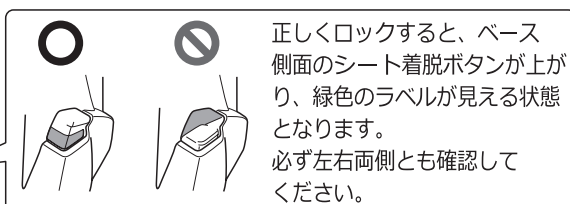
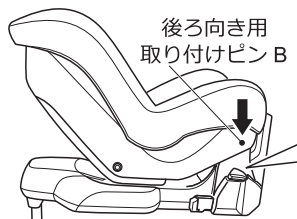
ベースの上に物が無い事を確認してからシートを取り付けてください。
ベースの上に物があると本体が正しくロックできず、事故時に重大な
傷害を負うおそれがあります。

シートを取り付ける（後ろ向き）

はじめに、シートをベースの上に置き、滑らすようにしてシートの「後ろ向き用取り付けピンA」をベースの「シート取り付け部A」にロックする。



次に、シートの前端部を押し付け、シートの「後ろ向き用取り付けピンB」をベースの「シート取り付け部B」にロックする。

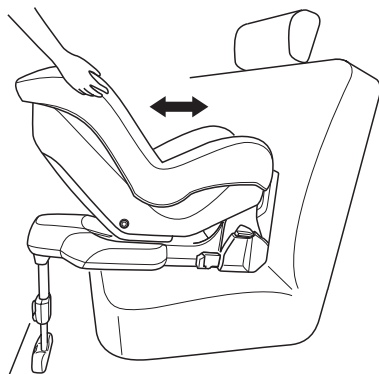


警告 全てのピンが正しくロックしていないと事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。

② 取り付けチェック

シートがベースにしっかりと取り付けられていることを前後左右にゆらして確認してください。

ぐらつきがある場合は「シートを取り付ける」(P23)の①～からやり直してください。



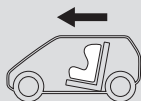
アドバイス

シートの取り外し方は P.29 を参照ください。

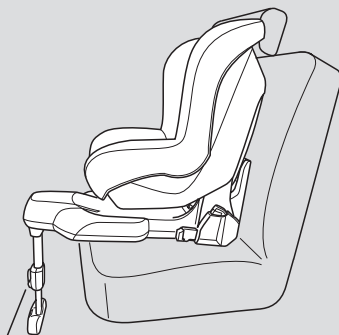
シートを取り付ける（前向き）

お子さまの身長76cm以上かつ月齢15ヶ月を超えてから
身長100cmまたは体重18kg以下

●取り付け完成イメージ



車の進行方向に対し、
前向きになるようシートを
ベースに取り付ける。



警告

お子さまが身長76cm以上、かつ月齢15ヶ月を超えるまで前向きで使
用しないでください。



注意

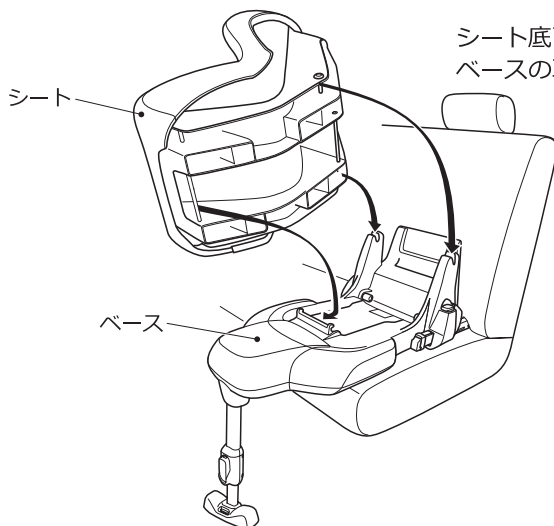
取り付けの際には可動部分に指や物を挟まないようにしてください。



アドバイス

長期間、車にチャイルドシートを取り付けることにより、車の座席に跡がつく
場合があります。

① ベースにシートを前向きに取り付ける。



シート底面の3箇所のピンを
ベースの取り付け部に差し込む。



警告

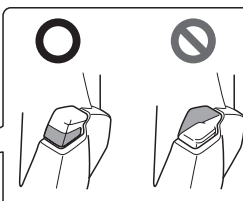
ベースの上に物が無い事を確認してからシートを取り付けてください。
ベースの上に物があるとシートが正しくロックできず、事故時に重大な
傷害を負うおそれがあります。

シートを取り付ける（前向き）

はじめに、シートをベースの上に置き、滑らすようにしてシートの「前向き用取り付けピンA」をベースの「シート取り付け部A」にロックする。



次に、シートの後端部を押し付け、シートの「前向き用取り付けピンB」をベースの「シート取り付け部B」にロックする。



正しくロックすると、ベース側面のシート着脱ボタンが上がり、緑色のラベルが見える状態となります。
必ず左右両側とも確認してください。

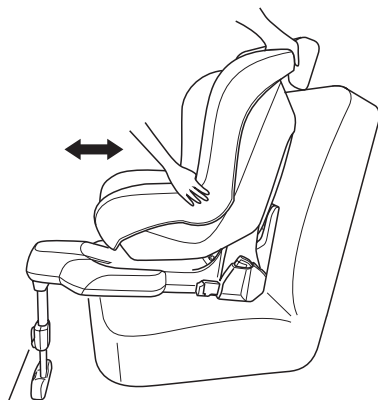


全てのピンが正しくロックしていないと事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。

② 取り付けチェック

シートがベースにしっかりと取り付けられていることを前後左右にゆらして確認してください。

ぐらつきがある場合は「シートを取り付ける」(P25)の①～からやり直してください。

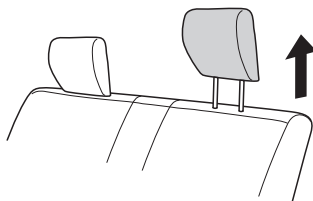


シートの取り外し方は P.29 を参照ください。

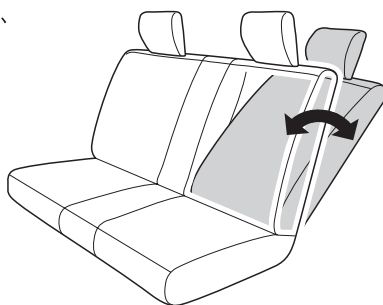
車の座席の調整について

シートを取り付ける際、座席に干渉して動かせない場合は、下記の調整を行ってください。

- ヘッドレストを上げる、または取り外す。



- 座席の背もたれをリクライニングさせ、角度を調整する。

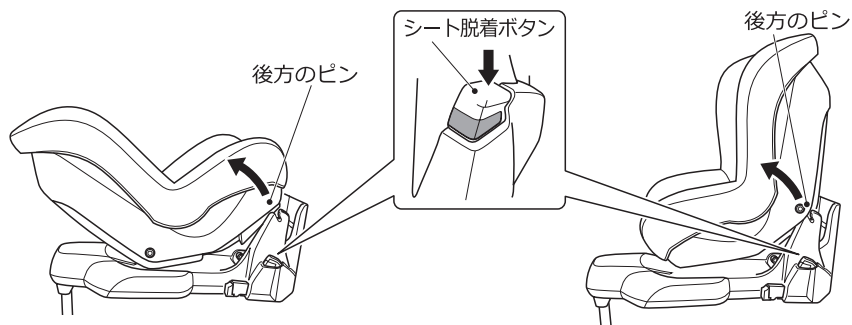


アドバイス

- 車によっては座席のヘッドレスト、背もたれ角度の調整ができない場合もあります。操作方法については、車の取扱書を参照ください。
- 取り外したヘッドレストは、車のトランクルームに入れ、大切に保管してください。

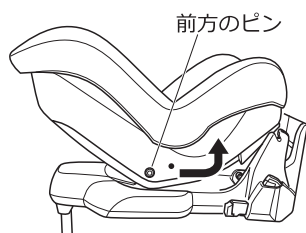
シートを取り外す

- ① シート着脱ボタンを押したまま、ベース後方に取り付いているピンを外す。



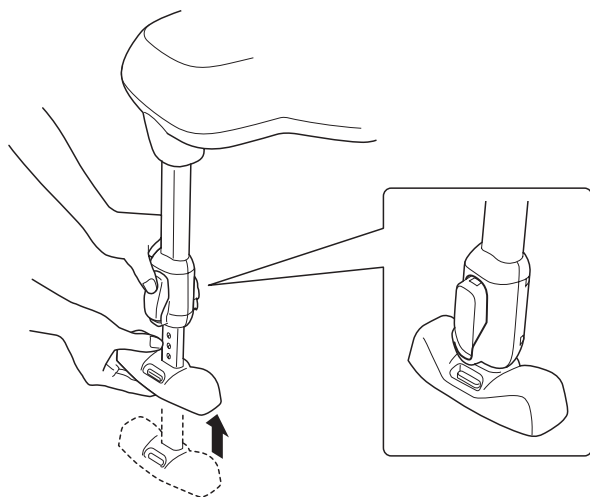
可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

- ② 次に、シートをベース後方に少しずらし、上に持ち上げ、ベース前方に取り付いているピンを外す。



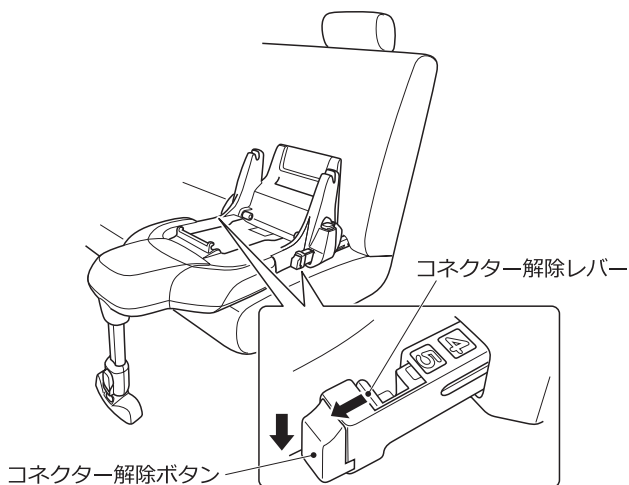
ベースを取り外す

- ① サポートレッグのアジャストボタンを押しながら、伸ばしたサポートレッグを縮める。



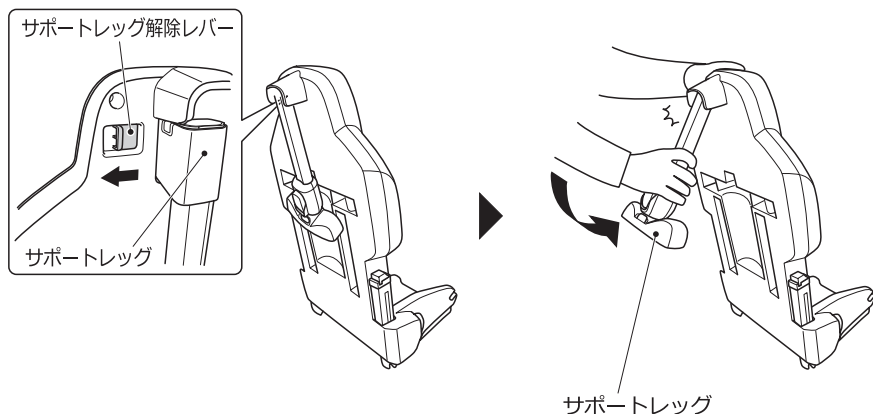
可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

- ② 両側のコネクターの解除ボタンを押しながら解除レバーを引き、ロックを解除し、車からベースを取り外す。



ベースを取り外す

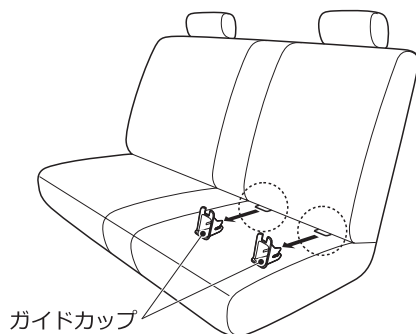
- ③ 底面の解除レバーを矢印の方向に動かし、サポートレッグを折畳む。
折り畳んだらレバーを離し、ロックさせる。



注意

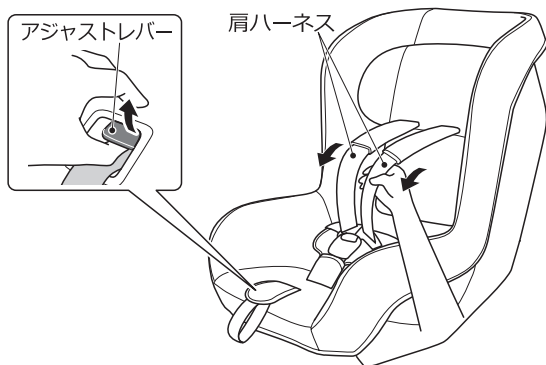
- 可動部分に指や物を挟まないようにしてください。
- 持ち運びの際には、必ずサポートレッグをロックしてください。

- ④ ガイドカップを使用している場合は取り外す。



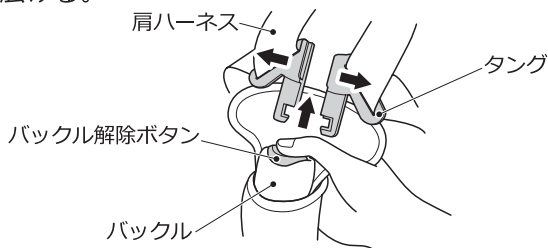
お子さまを座らせる

- ① アジャストレバーを持ち上げながら、肩ハーネスを引き出す。

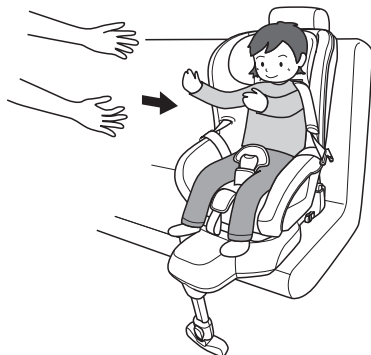


ハーネスを引き出す際にはカバーではなく、ハーネスを持って引き出してください。カバーを引っ張っても、引き出せません。

- ② バックル解除ボタンを押してバックルからタングを外し、肩ハーネスを左右に広げる。

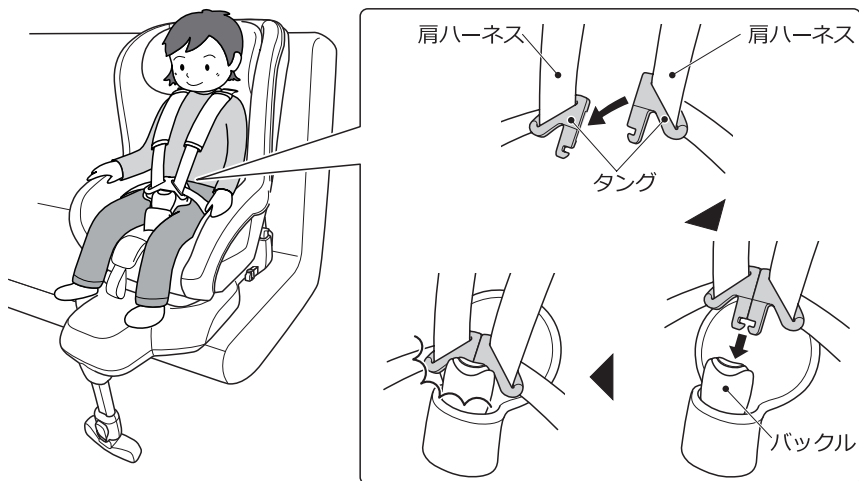


- ③ お子さまをチャイルドシートの上に深く座らせる。



お子さまを座らせる

- ④ 肩ハーネスをお子さまの肩にかけ、左右のタングを合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込む。



警告
タングがバックルに正しく結合されていないと、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を負うおそれがあります。

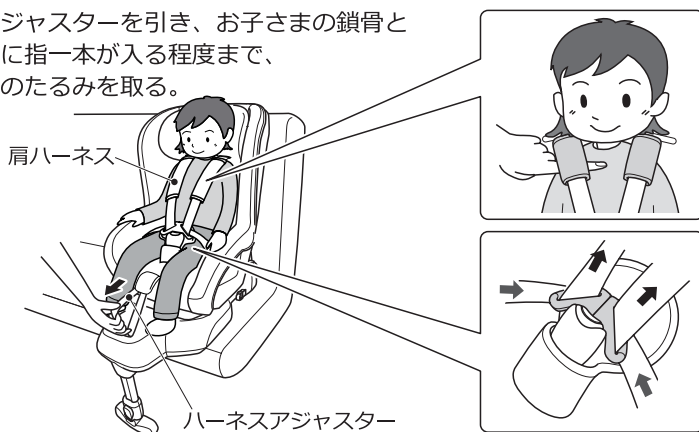


アドバイス

タングを引っ張り、タングとバックルが正しく結合されていることを確認してください。

- ⑤ 肩ハーネスを引っ張り、腰ハーネスのたるみを取る。

ハーネスアジャスターを引き、お子さまの鎖骨と肩ハーネスに指一本が入る程度まで、肩ハーネスのたるみを取る。



警告
ハーネスに緩みやねじれがないようにしてください。ハーネスとお子さまの間に余分な隙間があると、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を負うおそれがあります。

お子さまを降ろす

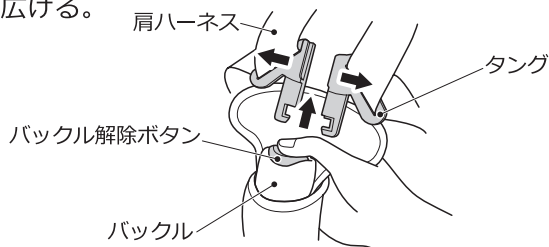
- ① ハーネスアジャストレバーを持ち上げながら、肩ハーネスを引き出す。



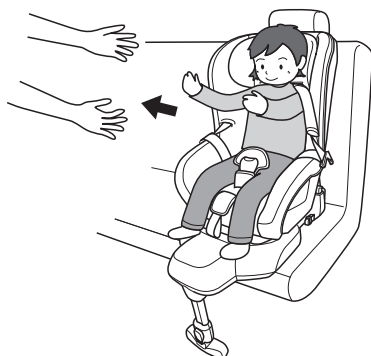
アドバイス

ハーネスを引き出す際にはカバーではなく、ハーネスを持って引き出して
ください。カバーを引っ張っても、引き出せません。

- ② バックル解除ボタンを押してバックルからタングを外し、肩ハーネスを左右に広げる。



- ③ お子さまを静かにチャイルドシートから降ろす。



アドバイス

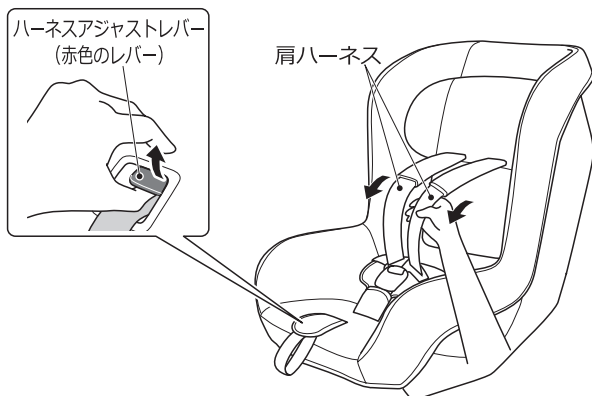
緊急時にバックル解除ボタンを押してもタングが外れない場合は、ハーネス
を切断するなどしてお子さまを救出してください。

クッション・カバーを取り外す



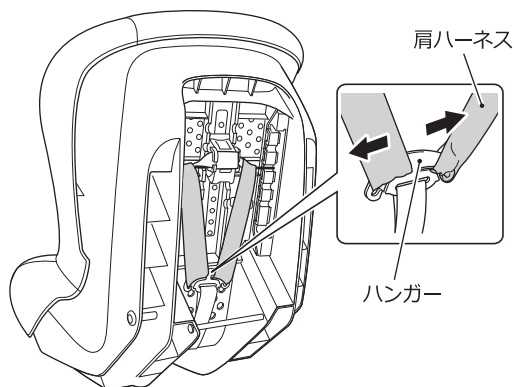
記載された以上の分解や部品の取り外しは行わないでください。
故障の原因となります。

- ① ハーネスアジャストレバーを持ち上げながら、肩ハーネスをすべて引き出す。



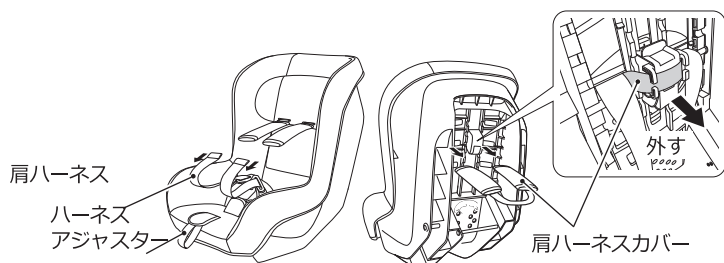
ハーネスを引き出す際にはカバーではなく、ハーネスを持って引き出してください。カバーを引っ張っても、引き出せません。

- ② 肩ハーネスをハンガーから外す。

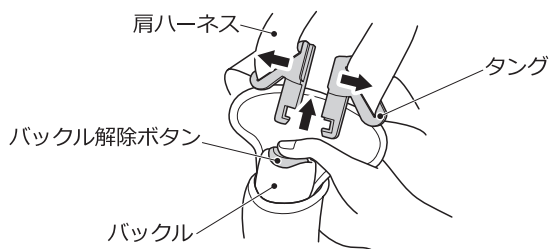


クッション・カバーを取り外す

- ③ 正面から肩ハーネスを引き抜く。またハーネスアジャスター端末のフックを外す。



- ④ バックル解除ボタンを押し、バックルからタングを外す。



クッション・カバーを取り外す

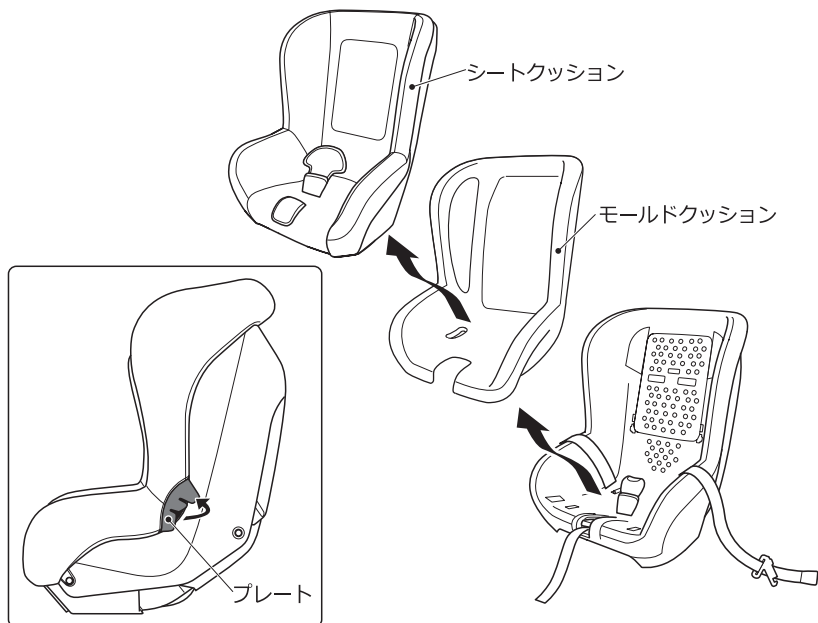
⑤ ヘッドクッションを外す。

(先に肩ハーネスアジャスターを最上段に上げ、
ヘッドクッションの下側を外し、
次に肩ハーネスアジャスターを最下段に下げ、
ヘッドクッションを上方へ抜き取る)

インナークッションが付いている場合は
取り外す。



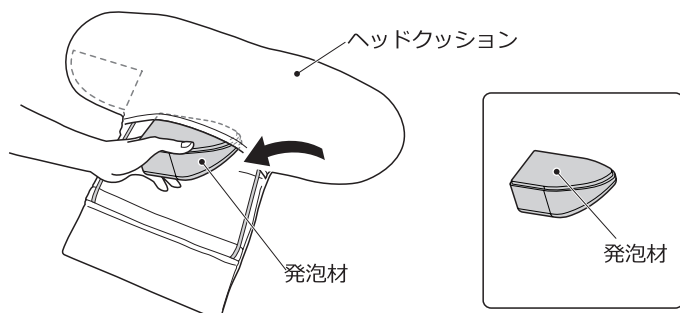
⑥ シートクッション側面のプレートシートから外し、シートクッション、 モールドクッションを外す。



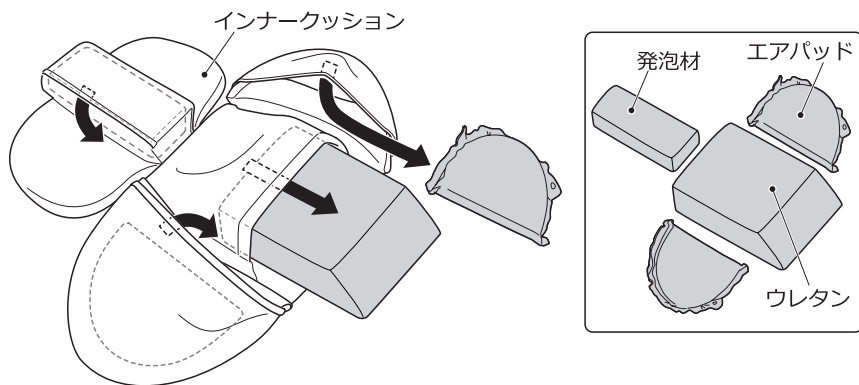
プレートは数箇所あります。商品により、プレートの位置、形状が
異なります。

クッション・カバーを取り外す

- ⑦ ヘッドクッションに入っている発泡材を裏側から取り出す。



- ⑧ インナークッションの頭部、背中、側面に入っているウレタン、エアパッド類を取り出す。

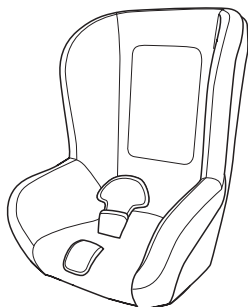


各部のお手入れ

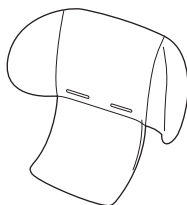
洗える部品

中性洗剤を使用して、手で押し洗いしてください。洗った後は日陰で平干ししてください。

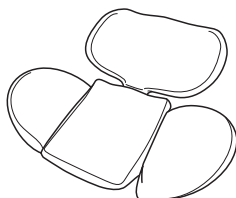
○シートクッション



○ヘッドクッション



○インナークッション



○肩ハーネスカバー



	液温は 40℃を限界とし 手洗いしてください。
	漂白剤は 使用しないでください。
	タンブル乾燥は行わ ないでください。
	日陰で 干してください。
	アイロン掛けは しないでください。
	ドライクリーニングは しないでください。



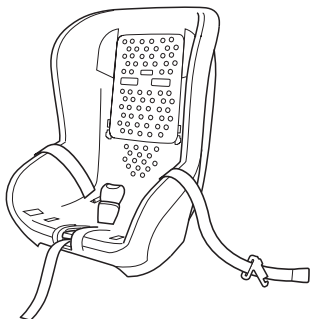
- ・洗濯後は、完全に乾燥させてからご使用ください。
- ・洗濯機は使用しないでください。崩れや、やぶれることがあります。

各部のお手入れ

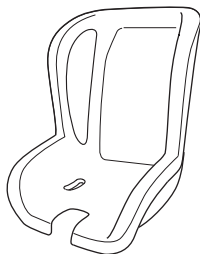
洗えない部品

プラスチック部、ハーネスは固くしぼった布で水拭きしてください。
エアパッド、発泡材、ウレタン、コーションラベル部は乾いた布で乾拭きしてください。

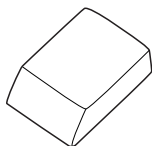
○シート
(発泡材、エアパッド含む)



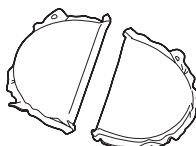
○モールドクッション



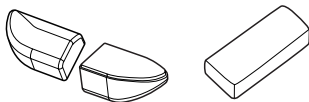
○ウレタン



○エアパッド



○発泡材



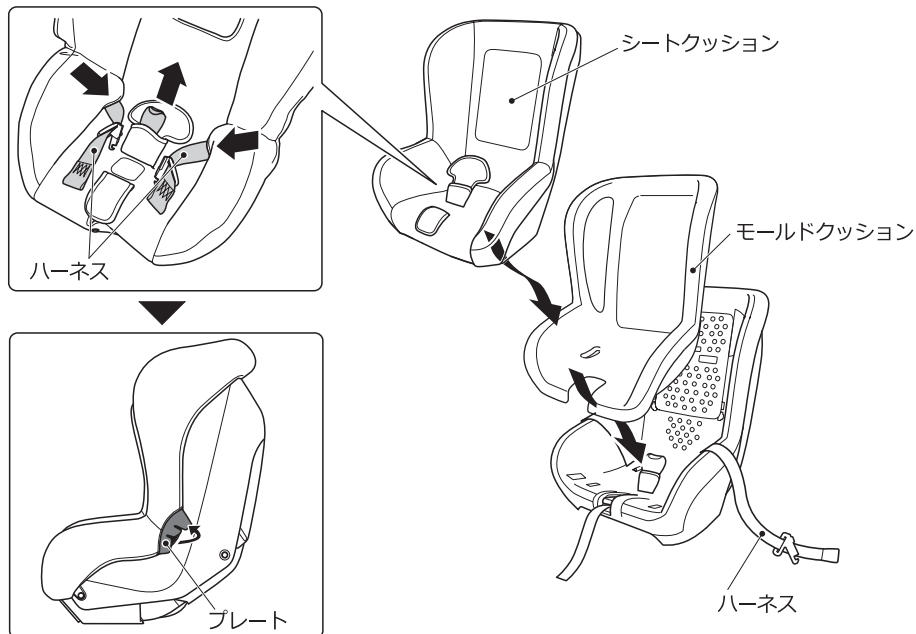
シンナー等の有機溶剤は使用しないでください。部品の破損や強度部品を傷めるおそれがあります。

クッション・カバーを取り付ける

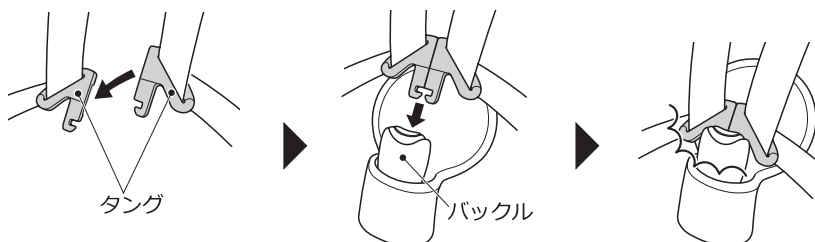


柔軟材料（クッション・カバー類、発泡材等）や構成部品を取り外した状態での使用、指定部品以外の物と取り換えての使用は行わないでください。

- ① モールドクッション、シートクッションの順にシートに被せ、ハーネスを通す。シートクッション側面のプレート本体に引っ掛ける。

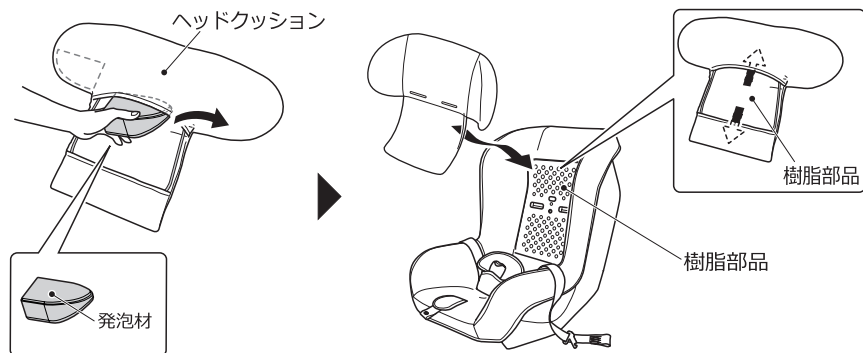


- ② 左右のタングを合わせ、バックルに挿入する。



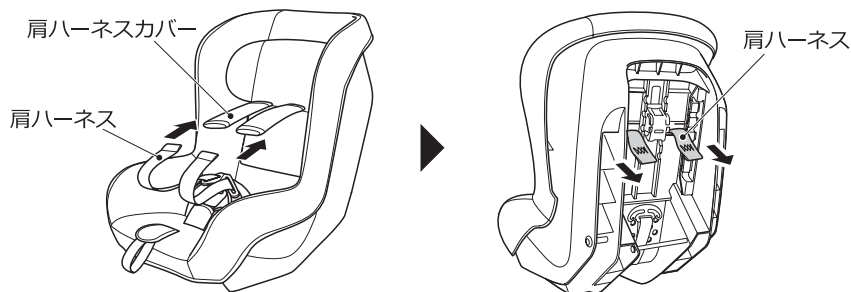
クッション・カバーを取り付ける

- ③ ヘッドクッションの裏側から発泡材を入れ、シートに取り付ける。

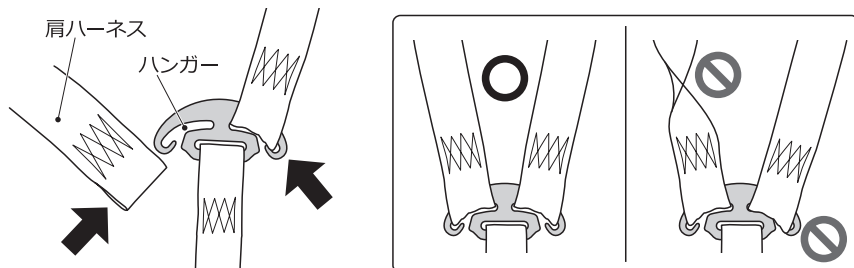


発泡材には右用と左用があります。お子さまの右手側に「R」、左手側に「L」と表記がある物を入れてください。

- ④ ハーネスを肩ハーネスカバー、肩ハーネス通し穴に通し、背面より引き出す。



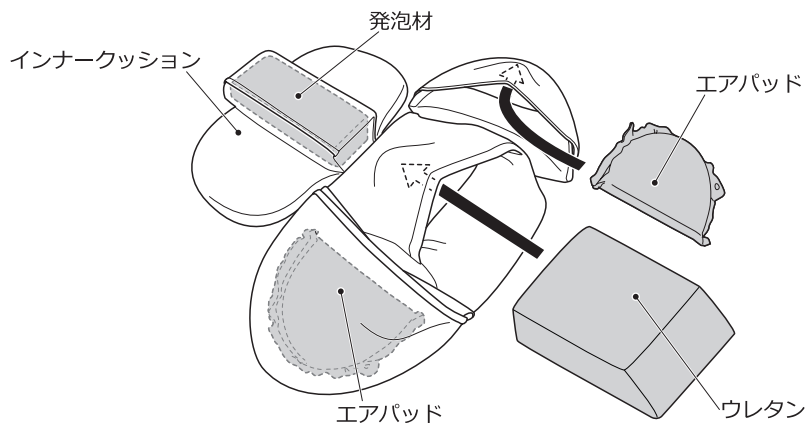
- ⑤ ねじれや半かかりが無いように肩ハーネスをハンガーにかける。



肩ハーネスをハンガーに正しく取り付けていないと、事故時にハーネスが抜けるなどして、重大な傷害を負うおそれがあります。

クッション・カバーを取り付ける

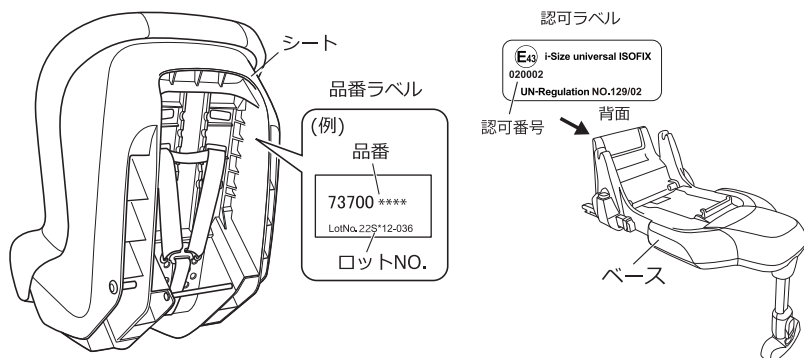
- ⑥ インナークッションにウレタン、パッドを入れ、必要に応じシートに取り付ける。(シートへの取り付けは P.17 を参照ください。)



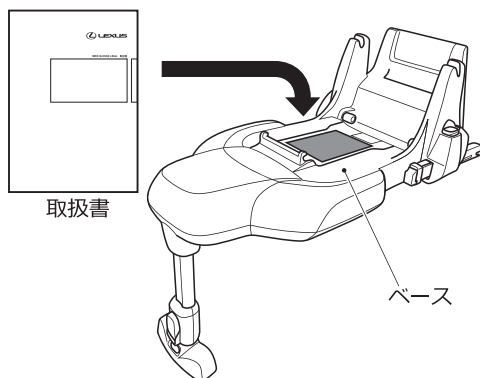
補修部品について

お買い上げの販売店または弊社お客様相談センター(☎0800-700-7700)までご連絡ください。お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えるよう、シート背面に貼っているラベル品番をお伝えください。

もし、背面ラベルが無い場合には、ベース背面にある認可ラベルに記載されている認可ナンバーをお伝えください。



取扱書は、ベース上面の収納部に取り付け保管してください。



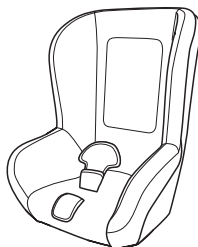
補修部品について

番号	用品名	品番
①	NEO G-Child i-Size	73700-48020
②	シートクッション	73731-48010
③	ヘッドクッション	73731-47050
④	インナークッション	73731-47060
⑤	肩ハーネスカバー	73715-48010

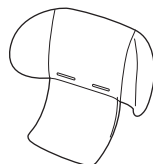
①NEO G-Child i-Size



②シートクッション



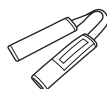
③ヘッドクッション



④インナークッション



⑤肩ハーネスカバー



お問い合わせ・ご相談は下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社

お客様相談センター
全国共通・フリーコール

 **0800-700-7700**

〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号
オープン時間／365日 9:00～18:00